



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月1日

上場会社名 株式会社ニッカトー 上場取引所 東
 コード番号 5367 URL <http://www.nikkato.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)西村 隆
 問合せ先責任者 (役職名)取締役総務部長 (氏名)紀ノ岡隆一郎 TEL (072) 238-3641
 四半期報告書提出予定日 平成22年11月15日 配当支払開始予定日 平成22年12月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日~平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	3,849	44.9	363	—	373	337.0	200	653.1
22年3月期第2四半期	2,656	—	27	—	85	—	27	—

(注) 当社は、平成21年3月期第3四半期より連結財務諸表の作成を始めたため、平成22年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第2四半期	16	74	—	—
22年3月期第2四半期	2	22	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
23年3月期第2四半期	10,337		7,617		73.7	638	77	
22年3月期	9,870		7,557		76.6	633	71	

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 7,617百万円 22年3月期 7,557百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
22年3月期	—	5 00	—	5 00	10 00
23年3月期	—	6 00			
23年3月期(予想)			—	6 00	12 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日~平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	8,100	34.6	880	279.1	900	178.2	490	237.7	41	09

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無
新規 — 社 (—)、除外 — 社 (—)

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

- ② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期2Q	12,135,695株	22年3月期	12,135,695株
23年3月期2Q	211,040株	22年3月期	210,902株
23年3月期2Q	11,924,672株	22年3月期2Q	11,925,013株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
【第2四半期連結累計期間】	7
【第2四半期連結会計期間】	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
4. 補足情報	12
(1) 売上高・受注高および受注残高の状況	12

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期におけるわが国の経済は、一昨年9月に起こりました所謂「リーマンショック」以降の大幅な落ち込みから、中国を中心とする新興国への輸出やエコポイント制度に代表される国内景気刺激策などに牽引されるかたちで、漸く立ち直りの兆しを見せてまいりましたが、デフレ経済からは依然脱却できず、失業率の高止まりも続いております。

このような状況のもとで、当社グループは経費の削減は勿論のこと、近年導入いたしました、新規設備を活用しての売上の増大にも注力いたしました。

この結果、売上高は3,849,094千円と前年同期が非常に低いレベルだったこともございますが、これに比べ44.9%の大幅な増収となりました。

事業別では、セラミックス事業は特に主力の耐摩耗セラミックスが前年同期比60%を超える増収となり、耐熱、機能性セラミックスもそれぞれ同40%を超える増収になったことから、全体では前年同期比51.4%増収の2,904,195千円となりました。この事業の市場別売上高構成比率は、電子部品・半導体向けが60.2%、化学・窯業・鉄鋼向けが18.8%、環境・エネルギー向けが5.7%となりました。

エンジニアリング事業につきましては、セラミックス事業ほど急回復は無かったものの、加熱装置、計測機器その他共に前年同期比2桁の増収になりましたことで、前年同期比28.2%増収の944,899千円となりました。市場別売上高構成比率では、電子部品・半導体向けが59.9%、環境・エネルギー向けが19.9%、化学・窯業・鉄鋼向けが8.9%となりました。

損益面につきましては、前年同期は殆ど利益が無かったことから、前年同期比では大幅な増益となりました。営業利益は前年同期比1235.0%増益の363,174千円、経常利益は同337.0%増益の372,865千円となりました。また、税金等調整前四半期純利益は特別損失に、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額28,867千円を計上いたしましたことなどにより、前年同期比460.3%増の337,429千円、四半期純利益は同653.1%増益の199,656千円となりました。

当第2四半期末の配当につきましては、当社の利益配分の考えに基づき、予定通り1株につき6円とさせていただきます。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産・負債・純資産の状況

資産は、増収に伴う売掛債権の増加により前年同期比7.3%増の10,336,795千円となりました。負債も増収に伴う買掛金が大きく増加し、前年同期比26.2%増の2,719,727千円となりました。純資産は株式価格下落によるその他有価証券評価差額金のマイナスが膨らみましたが、それを上回る繰越利益剰余金の増加により、前年同期比1.9%増の7,617,068千円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は1,892,263千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、増益にもかかわらず前年同期のような売掛債権の大幅な減少によるプラス効果がなく、前年同期比194,197千円減少の516,493千円のプラスに止まりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年の東山工場における大型設備投資が終了し、設備投資を抑えましたことにより、前年同期比321,856千円増の264,133千円のマイナスとなりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金210,000千円を調達しました結果、前年同期比52,507千円増の48,791千円のプラスとなりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の経済の見通しにつきましては、国内では円高、対中国問題や景気刺激策の終了、海外でも米国、ヨーロッパの回復が遅れており、先行きに対しては厳しい見方が大半を占めております。

このような状況ではございますが、当社は上半期に確保いたしました受注が、下半期には売上に寄与することなどから、さきの10月22日に当期の業績予想の修正を発表いたしております。

これにより、通期の連結業績見通しにつきましては、売上高81億円（前期比34.6%増収）、経常利益9億円（前期比178.2%増収）、当期純利益4億9千万円（前期比237.7%増収）を予定しております。

(注) 本資料に掲載している業績予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により予想数値と異なる可能性があります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(資産除去債務関係)

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益がそれぞれ442千円減少し、税金等調整前四半期純利益が29,309千円減少しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,881,716	1,730,578
受取手形及び売掛金	2,529,032	2,200,417
有価証券	30,546	30,533
商品及び製品	519,423	583,311
仕掛品	528,895	535,570
原材料及び貯蔵品	192,306	176,021
その他	130,902	163,031
貸倒引当金	△200	△3,999
流動資産合計	5,812,624	5,415,465
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,686,355	1,722,900
機械及び装置(純額)	1,077,979	1,196,842
その他(純額)	550,814	402,740
有形固定資産合計	3,315,149	3,322,484
無形固定資産	21,354	23,078
投資その他の資産		
その他	1,187,782	1,109,258
貸倒引当金	△114	—
投資その他の資産合計	1,187,667	1,109,258
固定資産合計	4,524,171	4,454,821
資産合計	10,336,795	9,870,286
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	962,731	885,177
短期借入金	402,000	402,000
1年内返済予定の長期借入金	226,700	168,512
未払金	192,099	211,893
未払法人税等	170,526	103,340
賞与引当金	197,000	172,500
役員賞与引当金	6,765	13,530
その他	126,049	17,235
流動負債合計	2,283,871	1,974,189
固定負債		
長期借入金	174,570	124,012
退職給付引当金	50,768	41,846
役員退職慰労引当金	108,873	105,208
資産除去債務	33,541	—
その他	68,102	68,152
固定負債合計	435,855	339,219
負債合計	2,719,727	2,313,408

(単位:千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,320,740	1,320,740
資本剰余金	1,221,859	1,221,859
利益剰余金	5,343,267	5,203,235
自己株式	△91,602	△91,541
株主資本合計	7,794,265	7,654,293
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△177,196	△97,415
評価・換算差額等合計	△177,196	△97,415
純資産合計	7,617,068	7,556,878
負債純資産合計	10,336,795	9,870,286

(2) 四半期連結損益計算書
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	2,655,931	3,849,094
売上原価	2,099,488	2,860,281
売上総利益	556,443	988,812
販売費及び一般管理費	529,238	625,638
営業利益	27,204	363,174
営業外収益		
受取利息	2,201	2,167
受取配当金	10,362	9,529
助成金収入	31,754	707
その他	23,372	7,628
営業外収益合計	67,691	20,032
営業外費用		
支払利息	6,777	6,254
コミットメントフィー	2,648	2,648
その他	147	1,437
営業外費用合計	9,573	10,340
経常利益	85,323	372,865
特別利益		
貸倒引当金戻入額	62	3,684
特別利益合計	62	3,684
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	28,867
固定資産除却損	—	8,000
固定資産廃棄損	926	2,253
設備移転費用	24,234	—
特別損失合計	25,160	39,120
税金等調整前四半期純利益	60,225	337,429
法人税、住民税及び事業税	27,600	169,000
法人税等還付税額	△2,225	—
法人税等調整額	8,340	△31,226
法人税等合計	33,714	137,773
少数株主損益調整前四半期純利益	—	199,656
四半期純利益	26,510	199,656

【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
売上高	1,417,102	2,052,815
売上原価	1,124,953	1,512,216
売上総利益	292,148	540,599
販売費及び一般管理費	258,228	315,737
営業利益	33,920	224,861
営業外収益		
受取利息	1,047	1,011
受取配当金	333	237
助成金収入	16,959	468
法人税等還付加算金	8,142	—
その他	3,731	2,436
営業外収益合計	30,215	4,154
営業外費用		
支払利息	3,462	3,337
コミットメントフィー	1,898	1,898
その他	147	—
営業外費用合計	5,508	5,236
経常利益	58,626	223,779
特別損失		
固定資産廃棄損	792	444
設備移転費用	24,234	—
貸倒引当金繰入額	8	—
特別損失合計	25,034	444
税金等調整前四半期純利益	33,592	223,334
法人税、住民税及び事業税	25,226	140,000
法人税等還付税額	△2,225	—
法人税等調整額	△2,540	△62,159
法人税等合計	20,460	77,840
少数株主損益調整前四半期純利益	—	145,494
四半期純利益	13,131	145,494

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	60,225	337,429
減価償却費	223,577	262,408
貸倒引当金の増減額(△は減少)	38	△3,799
受取利息及び受取配当金	△12,563	△11,696
支払利息	6,777	6,254
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△11,595	8,921
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△30,331	3,664
固定資産廃棄損	926	2,253
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	28,867
売上債権の増減額(△は増加)	232,424	△335,265
たな卸資産の増減額(△は増加)	29,026	53,157
その他の資産の増減額(△は増加)	308,567	1,675
仕入債務の増減額(△は減少)	△17,160	84,206
未払消費税等の増減額(△は減少)	△38,824	100,153
その他の負債の増減額(△は減少)	△45,456	78,355
たな卸資産廃棄損	—	1,120
小計	705,629	617,707
利息及び配当金の受取額	13,130	12,339
利息の支払額	△7,893	△7,250
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△175	△106,303
営業活動によるキャッシュ・フロー	710,690	516,493
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△584,107	△266,009
無形固定資産の取得による支出	△6,087	△820
投資有価証券の取得による支出	△849	△1,041
貸付金の回収による収入	1,865	1,405
定期預金の預入による支出	—	△150,000
定期預金の払戻による収入	—	150,000
投資その他の資産の増減額(△は増加)	3,188	2,331
投資活動によるキャッシュ・フロー	△585,990	△264,133
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	200,000	210,000
長期借入金の返済による支出	△84,510	△101,253
自己株式の取得による支出	△192	△61
配当金の支払額	△119,013	△59,893
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,715	48,791
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	120,984	301,151
現金及び現金同等物の期首残高	1,593,599	1,591,112
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,714,584	1,892,263

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

（単位：千円）

	セラミックス 事業	エンジニア リング事業	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	1,918,730	737,201	2,655,931	—	2,655,931
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,918,730	737,201	2,655,931	—	2,655,931
営業利益又は営業損失(△)	46,474	△19,269	27,204	—	27,204

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の主な製品

(1) セラミックス事業 ……粉砕用ボール及び部材、熱処理用容器・道具材、酸素センサ等

(2) エンジニアリング事業 …各種電気炉、熱処理装置、応力測定機器、計測制御装置等

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

在外子会社及び重要な在外支店がないため、記載を省略しております。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

海外売上が連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

【セグメント情報】

(追加情報)

当第1四半期連結累計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社の事業内容としてはセラミックス事業とエンジニアリング事業に大別されます。セラミックス事業は、工業用セラミックス製品を当社、堺工場及び東山工場で製造し販売するもので、当社の製品は、ほとんどがエンドユーザーである電子部品、食品、薬品、塗料等の各メーカーにおける生産工程で使用されるセラミックス製の道具類、備品、機械部分等の消耗品であります。エンジニアリング事業は、製造工場を持たず、加熱装置や計測機器等を商品として仕入れし販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	セラミックス事業	エンジニアリング事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	2,904,195	944,899	3,849,094	3,849,094
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	2,904,195	944,899	3,849,094	3,849,094
セグメント利益	346,378	16,795	363,174	363,174

3. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差額調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	363,174
四半期連結損益計算書の営業利益	363,174

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 売上高・受注高および受注残高の状況

(売上高)

事業の種類別セグメント	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)		比較増減額/率	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	増減率 (%)
セラミックス事業	1,918,730	72.2	2,904,195	75.5	985,464	51.4
エンジニアリング事業	737,201	27.8	944,899	24.5	207,697	28.2
合計	2,655,931	100.0	3,849,094	100.0	1,193,162	44.9

- (注) 1 金額は販売価格によっております。
2 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(受注高)

事業の種類別セグメント	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)		比較増減額/率	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	増減率 (%)
セラミックス事業	1,966,668	74.0	3,023,007	68.5	1,056,339	53.7
エンジニアリング事業	691,873	26.0	1,390,187	31.5	698,313	100.9
合計	2,658,542	100.0	4,413,195	100.0	1,754,652	66.0

- (注) 1 金額は販売価格によっております。
2 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(受注残高)

事業の種類別セグメント	前第2四半期連結累計期間末 (平成21年9月30日)		当第2四半期連結累計期間末 (平成22年9月30日)		比較増減額/率	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	増減率 (%)
セラミックス事業	1,014,675	86.2	1,255,546	67.2	240,871	23.7
エンジニアリング事業	162,280	13.8	612,061	32.8	449,780	277.2
合計	1,176,955	100.0	1,867,608	100.0	690,652	58.7

- (注) 1 金額は販売価格によっております。
2 上記の金額には消費税等は含まれておりません。